



三樹命名の由来

一年の計は穀を樹るに如くはなし  
十年の計は木を樹るに如くはなし  
終身の計は人を樹るに如くはなし  
管子

## ❖ 歴史的的一步 全日本教職員連盟（全日教連）に加盟決定



矢ヶ部委員長 郡司委員長(全日教連) 中村委員長(大分)

### 日本の教育正常化へ

平成29年6月11日、東京都の都市センターホテルで開催された全日教連第34回定期大会にて、福岡教育連盟の加盟承認が全会一致で議決されました。永年の同志である大分県公高教も同時に加盟承認がなされ、全日教連郡司隆文委員長、大分県公高教の中村高志執行委員長、本連盟の矢ヶ部大輔執行委員長は固い握手を交わしました。会場全体が歓迎する雰囲気となり盛大な拍手に包まれました。

なお、平成29年5月20日、福岡リーセントホテルで開催した本連盟第46回定期大会で、組織内で加盟を決定しており、ほぼ一年間議論を重ねた結果の実現となりました。日本の教育正常化への歴史的的一步と言えます。

### 執行委員長挨拶

「加盟の目的は日本の教育のさらなる正常化、日本の歴史、伝統、文化を尊重する教育の一層の推進、そして複雑化した教育課題の解決を図ることです。本連盟のスローガン『すべての子どもをわが子として』をベースに全日教連のスローガン『美しい日本人の心を育てる』教育活動に邁進します。よろしくをお願いします。」



全日教連第34回定期大会で力強く挨拶



福岡教育連盟第46回定期大会の様子



### 加盟までの歩み

「すべての子どもをわが子として」



- 昭和48年、西プロ結成以来、全国組織としての展開は本連盟が志すところであった。
- 平成18年「新しい教育の波」という仮称で全日教連、日高教、西プロの3団体の新しい組織連携が模索されたが実現せず。
- 平成28年第45回記念定期大会にて、加盟の検討をスタートすることを議決。
- 組織運営対策検討会議で議論スタート。答申にて「積極的に推進すべき」と提言。
- 提言をもとに第136回、第137回（臨時）、第138回評議員会、また、支部役員会等で意見聴取。議論を重ねる。
- 第46回定期大会で加盟を決定。
- 全日教連第34回定期大会で加盟承認される。



### 全日教連とは？

「美しい日本人の心を育てる」



- 昭和59年2月に教育正常化を目指す教職員団体が大同団結し結成されました。
- 全国で32団体が加盟しています。全日教連はその各単位団体の連合体であり、本部事務局と情報交換を密にして共通理解のもとで組織運営を行っています。
- 4つの運動方針を立て、国民の負託に応える教育の確立に努めています。
  - ①質の高い教育を提供する研修の充実
  - ②活力ある教育環境の整備
  - ③子供を取り巻く教育の改善
  - ④組織の強化・拡大
- 教職員を教職専門職と定義付け、日本を担う青少年のための教育環境のために学校現場の最前線に立つ教職員の声を国に伝えます。

## ◆全日教連に加盟して何が変わるのですか？

- ①福岡県の学校現場の状況を中央省庁等に届けます。  
これまでも本連盟は西プロとして大分県公高教とともに中央交渉を行ってきましたが、年2回で限られたものでした。これからは年に10回程度行われる中央要請行動に参加し、福岡の状況を伝えたり、要望をする機会が格段と増えます。
- ②全国の教職員とのネットワークをより強くします。  
全国教育研究大会や教育シンポジウム、各専門部会などへの参加により、他県の教職員とのネットワークを築くことが可能となります。それは教育について視野を広げ、教師の資質・能力を向上させることにつながります。

- ③中央情勢について情報を還元します。  
中央情勢報告や要請行動報告等において、文部科学省など国の教育施策に関する情報を還元します。本連盟のアプリや他の出版物、HPやメルマガにて、迅速に情報を連盟員に伝えます。連盟本部の情報収集力も増し、連盟員の情報ネットワークの核となります。
- ④福利厚生をサポートがより厚くなります。  
下記に示す全日本教職員連盟団体総合共済会など、教職員を守るための福利厚生制度がこれまでの連盟のサポートに加え、さらに厚く提供できます。

## ◆全日教連の主な行事

### 平成29年度の場合

- 4月26日 中央要請行動①(文科省)  
5月14日 専門部会・15日中央要請行動②(専門部要望)  
5月21日 第77回評議員会・22日~24日中央要請行動③④  
6月11日 第34回定期大会・12日中央要請行動⑤(文科省)  
7月2・3日 日華教育交流(栃木)  
8月5・6日 第34回教研大会(山口県下関市)  
8月16・17日 青年フォーラム・中央要請行動⑥  
8月19・20日 ブロック会議(東北・関東信越・九州)  
9月25日 中央要請行動⑦  
10月15日 専門部長副部長会・16日中央要請行動⑧(文科省等)  
11月2日・6日・7日 中央要請行動⑨⑩  
11月25日・26日 教育シンポジウム富山・27日中央要請行動⑪  
1月3日~7日 中華民国訪問研修(訪華団)  
2月4日 第78回評議員会

## ◆全日本教職員連盟団体総合共済会

- ①全日教連積立年金制度 ②全日教連「訴訟費用保険」



詳しくは連盟HPまたは全日教連HPをご覧ください。

- ③「収入補償制度」下記参照。

※チラシも同封しています。今回の申込締切は8/31です。

## ◆トピック

### 九州北部豪雨の被害に対する義援金（募金）のお願い

7月5日、6日に発生した福岡県、大分県における集中豪雨につきまして被災地の復興、学校をはじめとする避難所の運営、子供たちの学校生活や学習活動を平常に戻すために必要な財政的支援につなげるため、全日教連では義援金の協力が予定されています。福岡教育連盟としても、連盟員の皆様にご協力をお願いするところです。義援金につきましては、他県の単位団体から集まった義援金とともに、全日教連本部で取りまとめた上で、福岡県、大分県に届けられることになります。まずは、本連盟で取りまとめますので、下記の要領でご協力をお願いできれば幸いです。

- 義援金名 平成29年九州北部豪雨義援金 ○提出先・提出日 福岡県・大分県に8月下旬提出予定  
○募集期間 平成29年8月18日(金)まで ○募集方法 福岡教育連盟本部に持参または下記に振込  
○振込先 福岡銀行 県庁内支店 普通預金 1050016 (名義)福岡教育連盟 代表者 矢ヶ部 大輔  
※必ず連盟員本人の名義でお願いします。また振込手数料は恐れ入りますが自己負担でお願いいたします。

全日本教職員連盟団体総合共済会の会員のみなさまへ

## 収入補償制度の 申込締切日が迫っています!

長期にわたるケガ・病気で働けなくなった場合に一定額の安心の補償  
**収入補償制度**  
「団体長期障害所得補償保険」  
Group Long Term Disability(GLTD)

申込締切  
2017年  
8月31日(木)

保険期間 2017年12月1日(金)午後4時 ~ 1年間

団体割引適用で保険料が通常より割安になります  
(予定割引率20%)



パンフレットを紛失された方もお気軽にご連絡ください。

お問合わせ先 **ファイニティ・コンタクトセンター 0120-257-522**  
制度についてのお問合わせ、申込方法などお気軽にお問合わせください。  
※携帯電話からもご利用いただけます【受付時間】9:00~17:00(祝日除く~金)

引渡 保険会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(幹事会社 分掛割合:95%)  
公務部 営業階二課 〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19 TEL:03-6734-9985  
日本牛舎保険相互会社(非幹事会社 分掛割合:5%)  
取説 代理店 ジャパン・アフィニティ・マーケティング株式会社  
〒163-1437 東京都新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティタワー 37F